種名	<u>オ　ナ　ガ　ア　ゲ　ハ</u> <u>Papilio macilentus</u>
分類	アゲハチョウ科
形態	前翅長 47～68mm。地色は黒褐色、♂は後翅長の前縁に、黄白色の性標がある。♀は地色が淡く、後翅の赤色斑が大きい。クロアゲハとよく似ており、混棲することがある。本種は尾状突起が長く、やや内側に曲がる。前後翅とも、翅型が細長い。雌はジャコウアゲハの♀とも似るが、本種は胴体が黒い。
分布	北海道、本州、四国、九州 。
出現期	通常 4～9 月にかけて、年2回の発生。寒冷地では年1回、6～7 月に出現する。越冬態は蛹。
生態	♀は山地の渓流沿い蝶道をつくり、湿地で吸水する。ツツジ類、クルマユリなどで吸蜜する。
食樹	北海道ではツルツキミ、本州ではコクサギが主で、サンショウ、カワスザンショウも食べる。
幼虫 （幼生期）	体長 45mm、緑色で斜めの黒帯がある。
出現時期	（月）　－　－　-　4　5　6　7　8　9　-　－　－
その他	

参考文献：検索入門　渡辺康之著　チョウ